

分煙環境の整備推進

菊池JT執行役員が来社

日本たばこ産業(JT)の菊池孝徳執行役員が25日、岐阜新聞本社を訪れて矢島薫社長と面談し、紙巻きタバコよりおいが少ない加熱式タバコの商品展開や分煙環境の整備について語った。

同社は今年に入り、紙巻きに近い味わいがある高温加熱型、おいを抑えた低温加熱型の中でも吸い応えがあるものと、加熱式タバコの製品を相次いで発売し

ている。「顧客の多様なニーズに応える武器が出そろい、好評も得ている。今後ますますさまざまな人に満足してもらえる商品を開発し続けたい」と語った。

2020年全面施行の受動喫煙対策を強化する改正健康増進法には「喫煙者と非喫煙者が共存できる社会づくりを目指す。分煙環境の整備は非喫煙者の安心感にもつながる」と語り、飲食店などに分煙の助言をす



「喫煙者と非喫煙者が共存できる社会づくりを目指す」と語る菊池孝徳執行役員＝岐阜新聞本社

る取り組みを紹介した。
「JTフォーラム」が26日に岐阜市で開かれるのに合わせて来社した。